

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地															
八千代リハビリテーション学院	平成16年3月30日	片山 薫	〒276-0031 千葉県八千代市八千代台北11丁目1番30号 (電話) 047-481-7320															
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地															
学校法人巨樹の会	平成2年3月20日	藤井 茂	〒811-0213 福岡県福岡市東区和白丘2丁目1番12号 (電話) 092-607-0053															
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士														
医療	医療専門課程	作業療法学科	平成6年文部科学省告示第84号															
認定年月日	平成30年2月28日 文部科学省告示 第28号																	
学科の目的	人間愛に基づき対象者の共感的理解および受容をし専門的な知識・技術・価値を習得していくことで、包括的医療の一翼を担うリハビリテーションの専門職となる人材を育成することを目的とする。																	
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な授業実時数又は単位数	講義	演習	実習	実験												
3年	昼間	3150時間	1560時間	600時間	990時間	0時間												
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内数)	専任教員数	兼任教員数	総教員数													
120人	120人	0人	9人	21人の内数	49人の内数													
学期制度	<input checked="" type="checkbox"/> 前期: 4月1日～9月30日 <input checked="" type="checkbox"/> 後期: 10月1日～3月31日			成績評価	<p><input checked="" type="checkbox"/>成績表: 有</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>成績評価の基準・方法</p> <p>・講義、実習に必要な時間の出席状況と当該科目の評価により行う。 ・授業科目の評価はA・B・C・Dの4段階とし、C以上を合格とする。</p>													
長期休み	<input checked="" type="checkbox"/> 夏期: 8月1日～8月30日 <input checked="" type="checkbox"/> 冬期: 12月25日～1月10日 <input checked="" type="checkbox"/> 春期: 3月22日～3月31日			卒業・進級条件	・履修すべき全科の単位を取得したものについては、学院長が進級及び卒業を認定する。													
学修支援等	<input checked="" type="checkbox"/> クラス担任制: 有 <input checked="" type="checkbox"/> 個別相談・指導等の対応 成績不良者への学習支援を実施。欠席の多い学生に対し、担任より電話連絡し、状況確認を行い、状況に応じて保護者との三者面談を実施。 <input checked="" type="checkbox"/> 主な就職先、業界等(令和元年度卒業生) 病院、医療施設、福祉施設等 <input checked="" type="checkbox"/> 就職指導内容 担任より履歴書の書き方や面接の指導を実施。また、非常勤講師による接遇マナー講座を実施。			課外活動	<p><input checked="" type="checkbox"/>課外活動の種類 課外活動については、カンボジア研修旅行、地域交流会等(自治会主催の夏祭り、市主催マラソン大会ボランティア参加等)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>サークル活動: 無</p>													
就職等の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 卒業者数 : 37人 <input checked="" type="checkbox"/> 就職希望者数 : 36人 <input checked="" type="checkbox"/> 就職者数 : 36人 <input checked="" type="checkbox"/> 就職率 : 100% <input checked="" type="checkbox"/> 卒業者に占める就職者の割合 : 97.3% <input checked="" type="checkbox"/> その他 令和元年度卒業者に関する (令和2年5月1日 時点の情報)			主な学修成果(資格・検定等)	<p><input checked="" type="checkbox"/>国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成30年度卒業者に関する令和1年5月1日時点の情報)</p> <table border="1"> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> <tr> <td>作業療法士</td> <td>②</td> <td>37人</td> <td>36人</td> </tr> <tr> <td>国家資格</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	作業療法士	②	37人	36人	国家資格			
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数															
作業療法士	②	37人	36人															
国家資格																		
中途退学の現状	<input checked="" type="checkbox"/> 中途退学者 5名 平成31年4月1日時点において、在学者 122名 (平成31年4月1日入学者を含む) 令和2年3月31日時点において、在学者 117名 (令和2年3月31日卒業者を含む) <input checked="" type="checkbox"/> 中途退学の主な理由 (例)学校生活への不適合・経済的問題・進路変更等 <input checked="" type="checkbox"/> 進路変更、心身不調など <input checked="" type="checkbox"/> 中退防止・中退者支援のための取組 (例)カウンセリング・再入学・転科の実施等 担任による面談等によるフォロー、学校行事を通してリフレッシュを図る																	
経済的支援制度	<input checked="" type="checkbox"/> 学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 無 ※有の場合、制度内容を記入 <input checked="" type="checkbox"/> 専門実践教育訓練給付: 非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																	
第三者による学校評価	<input checked="" type="checkbox"/> 民間の評価機関等から第三者評価: 有 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL) 一般社団法人リハビリテーション教育評価機構 2017年4月1日～2022年3月31日認定																	
当該学科のホームページURL	http://www.yachivo-reha.jp/																	

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係						
(1) 教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針						
理学療法士・作業療法士の教育課程では、学外のリハビリテーション実施医療機関等で臨床実習が行われる。企業等との連携が多く求められるのが臨床実習であり、教育課程編成委員会では、企業委員は臨床実習病院の役職員、専門職団体からの委員、有識者委員を選任し、実務に関する知見、専門職人材の育成、専攻分野の動向などを踏まえて、臨床実習を含む教育課程に関する意見を参考に検討を行う。なかでも、産学連携協定を結ぶ実習病院との連携のもと、初年次より段階的に教育機会を設けて、知識技術のみならず倫理・態度の育成に力を入れ、早期より医療人としての資質を高めていく教育のために連携することを基本方針とする。また、企業における最新の技術・知識、必要とされる人材像等の意見を反映し授業内容等の工夫を行い、職業実践により社会貢献できる人材育成につながる教育課程の編成を目指す。						
(2) 教育課程編成委員会等の位置付け						
学校法人巨樹の会では各校に教育課程編成委員会を置き、学科編成や地域状況を踏まえて委員会を開催している。学外の委員に加えて、専攻分野各学科の責任者が委員となり、委員会の意見等は学内の運営会議を通じて教育課程の編成に反映させる。今後は、コアとなる教育課程の確認はもとより、PDCAサイクルに則り、専攻分野の職業実践につながる教育課程編成の検討、工夫に反映させていく。また、法人各校との情報交換や連携を進める。						
(3) 教育課程編成委員会等の全委員の名簿						
令和2年5月1日現在						
名前	所属	任期	種別			
薄 直宏	一般社団法人 千葉県理学療法士会 理事	令和 2年4月1日～令和 4年3月31日	①			
山田 友紘	一般社団法人 巨樹の会 八千代リハビリテーション病院 理学療法士	令和 2年4月1日～令和 4年3月31日	③			
福葉 真己	一般社団法人 巨樹の会 江東リハビリテーション病院 理学療法士	令和 2年4月1日～令和 4年3月31日	③			
小竹 貴	株式会社 シダー 関東本部長	令和 2年4月1日～令和 4年3月31日	①			
保科 恵幸	一般社団法人 巨樹の会 千葉みなとリハビリテーション病院 理学療法士	令和 2年4月1日～令和 4年3月31日	③			
山本 純子	一般社団法人 巨樹の会 松戸リハビリテーション病院 理学療法士	令和 2年4月1日～令和 4年3月31日	③			
松尾 真輔	一般社団法人 千葉県作業療法士会 理事	令和 2年4月1日～令和 4年3月31日	①			
川野 将広	一般社団法人 巨樹の会 原宿リハビリテーション病院 作業療法士	令和 2年4月1日～令和 4年3月31日	③			
奥川 達也	一般社団法人 巨樹の会 八千代リハビリテーション病院 作業療法士	令和 2年4月1日～令和 4年3月31日	③			
片山 薫	八千代リハビリテーション学院 校長	令和 2年4月1日～令和 4年3月31日	学内委員			
豊島 宇茂	八千代リハビリテーション学院 副校長	令和 2年4月1日～令和 4年3月31日	学内委員			
野見山通済	八千代リハビリテーション学院 副校長代行	令和 2年4月1日～令和 4年3月32日	学内委員			
高野 陽子	八千代リハビリテーション学院 事務部長代行	令和 2年4月1日～令和 4年3月31日	学内委員			
長曾我部 強	八千代リハビリテーション学院 事務主任	令和 2年4月1日～令和 4年3月31日	学内委員			
新垣 工	八千代リハビリテーション学院 理学療法学科 教務部長	令和 2年4月1日～令和 4年3月31日	学内委員			
河瀬 直也	八千代リハビリテーション学院 理学療法学科 教務主任	令和 2年4月1日～令和 4年3月31日	学内委員			
橋本 知美	八千代リハビリテーション学院 作業療法学科 教務部長	令和 2年4月1日～令和 4年3月31日	学内委員			
金平智恵美	八千代リハビリテーション学院 作業療法学科 教務副主任	令和 2年4月1日～令和 4年3月31日	学内委員			
(4) 教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期						
年間 2回以上開催、令和元年度は第1回～9月、第2回～3月に開催。						
令和元年度開催日時 第1回 令和元年9月25日(木) 15:00～17:10	第2回 令和 2年3月10日(火) 15:00～17:10					
(5) 教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況						
※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。						
臨床実習や職業実践教育の観点より、コミュニケーション能力や医療人としての資質に関する教育の必要性が提起され、臨床実習後の施設からのフィードバックを踏まえ、学内学習において、より具体的に情意領域、技術的領域にわたる教育、併せて、臨床実習中のストレス対策を検討する。「対人関係演習Ⅰ・Ⅱ」の授業の充実により、職業実践場面での演習、臨床実習病院でチーム医療を学ぶ機会を増やし、グループ病院臨床実習指導者との会議、客観的臨床能力試験(OSCE)による学習への病院職員の協力から得られた意見も検討して教育課程へ反映させている。						
(別途、以下の資料を提出)						
* 教育課程編成委員会等の位置付けに係る諸規程	* 教育課程編成委員会等の規則	* 教育課程編成委員会等の企業等委員の選任理由(推薦学科の専攻分野との関係等)※別紙様式3-1				
* 学校又は法人の組織図	* 教育課程編成委員会等の開催記録					
2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係						
(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針						
学校法人巨樹の会は、医療・福祉業界と連携して、臨床実践の場での演習や実習を積極的に進め、臨床で求められる人材を育成し輩出してきた。なかでも、臨床実践教育は、産学連携協定を結ぶグループ病院との連携のもと、初年次より段階的に教育機会を設けて、知識技術のみならず倫理・態度の育成に力を入れ、早期より医療人としての資質を高めていくことを基本方針としている。また、授業内容については、臨床の最先端の技術知識について意見交換し適宜変更を行い、臨床実習指導者を対象にした会議も開催して、教育課程編成を検討する上の参考としている。						
(2) 実習・演習等における企業等との連携内容						
臨床実習は連携病院とのインナーシップを促進する協定に基づき、教育課程編成委員会意見の反映、臨床実習指導者会議の開催をはじめ、学院が示す診療参加型実習の実践に向けた連携や連絡調整を行う。なお、専任教員は定期的に実習病院を訪問して指導者との連携のもとに臨床教育を実践、実習成績は病院の指導者による成績表を踏まえ、提出物などを含め学院にて成績評価を行う。その他、実習・演習科目についての授業内容、実施、成績評価はシラバス等にて確認および連携を図る。学内演習で対象者の理解、医療人としてのルールマナーを学び、最終学年次の臨床実習では、最前線の医療現場を経験し、職業実践に必要な知識技術及び自己研鑽できる姿勢の修得を目指す。また、授業以外での見学や職場体験も行えるよう調整する。						
(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。						
科目名	科目概要	連携企業等				
対人関係演習Ⅰ	医療専門職に対する社会的要請を学び、医療人としての守るべき倫理を理解する。また、人間関係の在り方を学ぶとともに他者理解のためのコミュニケーション技法を理解する。	株式会社ホスピタリティソーシャルジャパン 講師 石渡みどり				
対人関係演習Ⅱ	人間関係における他者理解のためのコミュニケーション技法を経験し、自己課題を認識する。	株式会社シダー 計15施設				
生活機能演習	施設において対象者及び職員への情報収集を行い、対象者の生活場面の観察を行い、トップダウン評価及び治療を学習する。	医療機関、介護保険施設等、計65施設				
地域作業療法学演習	地域リハビリテーションにおける社会制度や作業療法士の役割について説明できるとともに地域リハビリテーションに関わる他職種のサービスについてその概略を説明できる。	株式会社シダー 関東地区本部				
臨床実習Ⅰ～Ⅳ	各疾患の評価及び治療プログラム立案及び治療までの一連の流れを経験し、作業療法士の思考過程を学習する。	八千代リハビリテーション病院、千葉みなとリハビリテーション病院、松戸リハビリテーション病院、原宿リハビリテーション病院、五反田リハビリテーション病院など計15病院				
(別途、以下の資料を提出)						
* 企業等との連携に関する協定書等や講師契約書(本人の同意書及び企業等の承諾書)等						

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

専攻分野の実務研修、学生への教授力や指導力向上に関する研修に、参加や研究発表などによる積極的な取り組みを奨励して、医療専門職として社会貢献できる人材育成に役立てることを目指す。臨床実習病院との連携による臨床研修、学術大会をはじめ、理学療法士・作業療法士の職能団体等が実施する研修も活用して、専攻分野の実務に関する研修の機会とする。また、指導力修得・向上を図るために、専攻分野における教員養成講習の受講を原則とし、教育機関団体等が実施する研修への参加、外部教育機関や職能団体から講師を招いて行う教育研修も行う。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

1)臨床研修

臨床と乖離することを防ぎ、最新の知識、技術、知見を備えて養成教育にあたることを目的に、専任教員の臨床研修を週1回の頻度で企業連携科目の臨床実習の受け入れ病院との協定に基づき、4月より9月の6ヶ月間、3期にわたり継続して実施している。実習病院の治療場面を通して、臨床的思考や治療技術に関する見識を臨床実務者と共にし、意見交換や臨床教育を推進する中で、専攻分野の職業実践ならびに養成教育に関する研修の機会とする。

第1期:平成31年4月15日(月)~令和元年5月10日(金) 第2期:令和元年5月27日(月)~7月19日(金) 第3期:令和元年8月5日(月)~9月27日(金) OT学科研修実施教員 6名
連携する企業:八千代リハビリテーション病院、松戸リハビリテーション病院、千葉みなとリハビリテーション病院、原宿リハビリテーション病院、新久喜総合病院、

蒲田リハビリテーション病院、五反田リハビリテーション病院、赤羽リハビリテーション病院、小金井リハビリテーション病院、江東リハビリテーション病院

みどり野リハビリテーション病院、新上三川病院、所沢明生病院、明生リハビリテーション病院、宇都宮リハビリテーション病院

2)連携企業グループ学術大会

年2回開催の連携企業(臨床実習病院)グループ合同学術大会へ参加、聴講、実習指導者・連携企業職員と意見交換。企業連携科目は臨床実習。

令和元年度第1回 関東カマチグループ学術大会 令和元年9月29日(土)9:00~16:00 会場:新久喜総合病院 開催準備および協力を実施。

令和元年度第2回 関東カマチグループ学術大会 令和2年2月22日(土)9:00~16:00 会場:八千代リハビリテーション学院 準備委員として参画も開催中止。

3)職能団体等実施の学会、研修会への参加

理学療法士・作業療法士の職能団体、専任教員が所属する学会などの学術大会や研修会に参加。専攻分野の見識を高め、授業内容の充実を図る。

千葉県作業療法士会プロジェクト研修会	2019年6/1(土)	内容:脳卒中上肢麻痺者への機器や装具を用いた	主催:千葉県作業療法士会 会場:東京湾岸リハビリテーション病院 参加 2名
千葉県作業療法士会研修会	2019年7/7(日)	内容:精神障害領域における作業療法評価介入	主催:千葉県作業療法士会 会場:総武病院 参加 2名
臨床実習指導者養成講習会	2018年7/13(土)	内容:臨床実習指導者の要請について	主催:日本作業療法士協会 会場:首都大学東京 参加 1名
認知症リハビリテーション専門職研修	2019年8/10(土)	内容:認知症リハ専門職研修基礎コース	主催:千葉県作業療法士会 会場:千葉県教育会館 参加 1名
千葉県作業療法士会研修会	2019年8/24(土)	内容:他職種連携、それぞれの領域から	主催:千葉県作業療法士会 会場:フレスボ福毛 参加 3名
第53回日本作業療法学会	2019年9/6(金)~9/7(土)	内容:作業療法研究のターニングポイント、演題発表	主催:日本作業療法士協会 会場:福岡国際会議場 参加 1名
第55回POTA全国研修会	2019年9/14(土)	内容:児童、思春期の支援	主催:精神科作業療法協会 会場:九州中央リハ学院 参加 1名
第61回歯科基礎医学学会学術大会	2019年10/12(土)~14(月)	内容:Reborn歯科基礎医学さらなる一步へ	主催:一般財団法人人口腔保健協会 会場:東京歯科大学 参加 1名
第308回東京歯科大学学会	2019年10/19(土)~20(日)	内容:歯科医学・関連医学研究活動動向	主催:一般財団法人人口腔保健協会 会場:東京歯科大学 参加 1名
2019台湾国際作業療法学会	2019年11/2(土)~3(日)	内容:演題発表、効果的なe-ラーニング	主催:台湾作業療法士会 会場:国立台湾大学 参加 1名
千葉県作業療法士会研修会	2020年1/12(日)	内容:認知症の評価について	主催:千葉県作業療法士会 会場:千葉県教育会館 参加 1名
千葉県作業療法士会研修会	2020年1/19(日)	内容:ブール活動レベルを用いた作業療法の展開	主催:千葉県作業療法士会 会場:船橋総合病院 参加 2名
公認心理師現任者講習会	2020年1/22(水)~25(土)	内容:公認心理師現職研修	主催:日本心理研修センター 会場:ベルサール飯田橋 参加 1名
2019年度第3回発達障害講座	2020年2/1(土)	内容:発達障害～成人期の困り感と家族の関り～	主催:千葉県発達障害者支援センター 会場:千葉市生涯学習センター 参加 1名

②指導力の修得・向上のための研修等

福岡保健学院リハビリ教員初任者研修	2019年5/11(土)	内容:法人・学校の運営と教育方針について	主催:福岡保健学院研修委員会 会場:八千代リハ学院 参加 2名
世界教育学会・日本教育学会	2018年8/6(火)~8/8(木)	内容:インクルーシブ教育、IT教育、専門職教育	主催:全国リハビリ学校協会 会場:学習院大学 参加 1名
PT・OT・ST養成施設教員等講習会	2019年8/14(水)~9/4(水)	内容:教育論・原理、教育方法・心理等	主催:(公)医療研修推進財団 会場:国際医療福祉大学 参加 1名
第12回初年次教育学会	2019年9/6(金)~9/8(日)	内容:初年次を超える初年次教育、キャリア形成支援	主催:初年次教育学会 会場:創価大学 参加 1名
日本教育工学会2019秋季全国大会	2019年9/7(土)~8(日)	内容:教育工学研究デザイン、授業開発、ICT教育	主催:日本教育工学会 会場:名古屋国際会議場 参加 1名
福岡保健学院リハビリ教員中央研修	2019年9/21(土)	内容:アクティブ・ラーニングについて	主催:福岡保健学院研修委員会 会場:八千代リハ学院 参加 9名
日本リハビリテーション教育大会	2019年12/21(土)	内容:学会出席、演題発表、業務定着の有効因子	主催:日本リハビリ教育学会 会場:大演信泉記念館 参加 1名

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

1)臨床研修...企業連携科目の臨床実習の受け入れ病院にて、週1回の頻度で、令和2年度の4月～9月の6か月間、継続して専任教員の臨床研修を実施する。

2)連携企業グループ学術大会...令和2年度8月および2月に予定の年2回の開催に専任教員が参画、出席する。

3)職能団体等実施の学会、研修会への参加...専攻分野、担当科目、授業内容に応じ、職能団体の学会、研修・講習等の受講を進める。

②指導力の修得・向上のための研修等

1)理学療法士・作業療法士・言語聴覚士養成施設教員等講習会の受講...令和2年度は理学療法学科2名、作業療法学科1名の受講を予定。

2)全国リハビリテーション学校協会 第33回教育研究大会・教員研修会(8月27~28日、石川県)...理学療法・作業療法の各専攻分野専任教員が参加予定。

3)外部団体が開催する教育研修等の受講...専任教員が受講を希望する研修に参加。

4)学校法人巨樹の会リハビリ専任教員研修、その他外部講師を招いて行う教育研修

・新規入職専任教員研修	2020年5月29日(金)	内容:学校運営、学生教育	主催:巨樹の会研修委員会 会場:小倉リハ学院 参加予定 2名
・巨樹の会専任教員中央研修	2020年7月予定	内容:アクティブ・ラーニング、学生評価	主催:巨樹の会研修委員会 会場:八千代リハ学院 参加予定 27名
・巨樹の会教育者支援研修	2020年8月予定	内容:学生との関わり、発達障害の理解	主催:巨樹の会研修委員会 会場:八千代リハ学院 参加予定 27名

(別途、以下の資料を提出)

* 研修等に係る諸規程

* 研修等の実績(推薦年度における実績)

* 研修等の計画(推薦年度における計画)

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価を通じ、教育活動及び学校運営を点検し、継続的に改善することで、社会の変化に対応できる学校組織を目指すとともに、情報公開により学校の透明性向上を図る。また、自己評価・学校関係者評価を行うことで、全教職員が学校の状況及び目標・方向性を共有し、教育活動及び学校運営の改善を円滑に推進する。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	①教育理念・目的・人材育成像の明確化 ②学生・保護者・学校関係者への周知 ③医療・福祉のニーズとの整合性
(2)学校運営	①事業計画の策定 ②運営組織・意思疎通機能の明確化 ③情報システム化による業務の効率化
(3)教育活動	①教育理念に沿った教育課程編成・実施方針の策定 ②実践教育の視点に立ったカリキュラム教授内容の工夫 ③医療・福祉実践教育の体系化 ④授業評価実施体制 ⑤教育力向上のための研修の実施
(4)学修成果	①就職率向上への努力 ②退学率・留年率低減の努力 ③国家試験合格率への努力 ④卒業生の状況を教育活動に反映
(5)学生支援	①学生相談及就職相談に関する体制整備 ②学生生活指導及び安全管理に関する体制整備 ③高校や保護者と連携した指導の取組
(6)教育環境	①教材及び教育環境改善の取組 ②臨床実習における環境改善の取組 ③防災に関する体制整備
(7)学生の受け入れ募集	①高等学校等への適切な情報提供 ②資格取得・就職状況等の適切な情報提供
(8)財務	①中長期的な学校の財務基盤の安定 ②予算・収支計画の妥当性 ③会計監査の適切な実施
(9)法令等の遵守	①法令・設置基準等の順守と適正な運営 ②個人情報保護対策
(10)社会貢献・地域貢献	①学校施設を活用した社会貢献・地域貢献 ②学生ボランティア活動
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

2019年度の実績より、理学療法士・作業療法士養成指定規則改訂に応じた新たなカリキュラムによる教育推進について確認。学内WiFi環境の整備とipadを活用した授業の実践などICT教育の導入、教員間授業評価や教育力向上の取組み、防災体制の整備などに関する学校関係者評価ならびに検討結果を活用し、2020年度重点整備目標・計画を作成して、質の高い教育を提供できる体制整備を行っていく。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和2年5月1日現在

名前	所属	任期	種別
斎藤 剛史	医療法人徳洲会 成田富里徳洲会病院	令和2年4月1日～令和4年3月31日	企業等評価委員
田中 朋美	一般社団法人巨樹の会 千葉みなとリハビリテーション病院	令和2年4月1日～令和4年3月31日	企業等評価委員
小林 誠	医療法人静和会 浅井病院	令和2年4月1日～令和4年3月31日	卒業生評価委員
市角 雄幸	習志野市市議会議員	令和2年4月1日～令和4年3月31日	地域評価委員
矢島奈穂美	千葉県立八千代東高等学校	令和2年4月1日～令和4年3月31日	高等学校評価委員
奥田 裕	帝京科学大学 東京理学療法学科	令和2年4月1日～令和4年3月31日	有識者評価委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。(例)企業等委員、PTA、卒業生、校長等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ 7月

URL:<http://www.yachivo-reha.jp/>

(別途、以下の資料を提出)

* 学校関係者評価委員会の企業等委員の選任理由書(推薦学科の專攻分野との関係等)※別紙様式3-2

* 自己評価結果公開資料 * 学校関係者評価結果公開資料(自己評価結果との対応関係が具体的に分かる評価報告書)

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

「専門学校における情報提供等への取り組みに関するガイドライン」に基づいて、企業等関係者の理解、学校教育の質の保証・向上を図るために、ホームページにて学校の基本的情報、学則・シラバス、実績ほか、情報公開を行う。学校関係者評価に際しては自己評価結果ほか、学生便覧、学校パンフレット等の広報資料、カリキュラム等教育関連資料、教育実績等を提供し、自己評価報告書および学校関係者評価報告書にて公開する。また、連携企業や関連団体に対してホームページその他の媒体でも情報公開を行い、学校関係者への積極的な情報提供・説明のもと、学校運営の透明性を図る。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	①校長名 ②所在地 ③連絡先 ④学校の沿革 ⑤学校の特色(教育活動・カリキュラム等) ⑥教育目標 ⑦運営方針 ⑧教育指導計画 ⑨学校行事計画
(2)各学科等の教育	①入学者選考の方針及び方法 ②定員数 ③教育課程 ④進級及び卒業要件 ⑤資格取得 ⑥卒業者数及び卒後の進路状況
(3)教職員	①教職員数 ②教職員の組織及び専門性
(4)キャリア・実践職業教育	①キャリア教育への取組状況 ②企業等との授業等の取組状況 ③就職支援の取組状況
(5)様々な教育活動・教育環境	①学校行事への取組状況 ②課外活動等の状況
(6)学生の生活支援	①生活支援の取組状況
(7)学生納付金・修学支援	①学生募集及び納付金の取り扱い ②就学支援の内容
(8)学校の財務	①資金収支計算書、消費収支計算書及び貸借対照表
(9)学校評価	①自己点検及び自己評価報告書 ②学校関係者評価による改善方策
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

URL:<http://www.yachivo-reha.jp/>

(別途、以下の資料を提出)

* 情報提供している資料

事務担当 責任者	フリガナ チョウソカベ ツヨシ	所属部署	事務部
	氏名 長曾我部 強	役職名	事務主任
	所在地 千葉県八千代市八千代台北11丁目1番30号		
	TEL 047-481-7320	FAX	047-481-7321
	E-mail t-cho@yachivo-reha.jp		

授業科目等の概要

(医療専門課程作業療法学科) 令和2年度			八千代リハビリテーション学院										
分類	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		場所	教員	企業等との連携
									講義	演習			
	○			心理学	対人援助に必要な人の行動科学の基本原則を学び、対象者理解の基礎を養う。リハビリテーションに関わる学習理論を理解する。	1年前期	30	2	○		○		○
	○			統計学	基礎的統計処理を学習し、理学療法・作業療法に必要な臨床研究の基礎を身につける。	2年後期	30	2	○		○		○
	○			情報処理	PCの基本的操作、文章作成、表計算やプレゼンテーション、研究やレポート作成に必要なデータ処理、統計分析手法を学習する。	2年後期	30	2	○		○		○
	○			物理学	人体の運動と物理法則の関係を理解し、リハビリテーションの臨床場面における科学的思考の基礎を養う。	1年前期	30	2	○		○		○
	○			基礎教養	文章を書く上で基本となる語彙と文法、文章構成を理解する。また、説得力のある論理的な文章表現力を身につける。	1年前期	30	2	○		○		○
	○			対人関係演習 I	医療専門職への社会的要請、医療人として倫理を理解する。人間関係、他者理解のためのコミュニケーション技法を理解する。	1年前期	30	2		○	○		○ ○
	○			対人関係演習 II	人間関係における他者理解のためのコミュニケーション技法を経験し、自己課題を認識する。	1年後期	30	2		○ △	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○		
	○			解剖学 I	正常な人体の動物機能にかかる骨・筋及び神経系の形態と構造を理解する。	1年前期	30	2	○		○		○
	○			解剖学 II	正常な人体の動物的機能、神経系の形態及び構造、植物系機能並びに意識的感覚や精神機能にかかる形態・構造を理解する。	1年後期	30	2	○		○		○
	○			生理学 I	生理学の基礎である細胞生理を理解したうえで、人の生理学的（植物）機能を理解する。	1年前期	30	2	○		○		○
	○			生理学 II	人の動物性機能を理解する。	1年後期	30	2	○		○		○
	○			運動学 I	身体の構造と姿勢保持・運動との関係を理解する。上肢の骨・関節・韌帯・筋、脊柱・胸郭の構造と運動との関わりを理解する。	1年前期	60	4	○		○		○
	○			運動学 II	下肢の骨・関節・韌帯・筋、脊柱・胸郭の構造と運動との関わりを理解する。姿勢保持機構と正常歩行について理解する。	1年後期	30	2	○		○		○
	○			運動学演習 I	人体・上肢体の関節構造と運動の力源である筋肉について、知識を深めて人体の動きを3次元で考えられる基礎を養う。	1年前期	30	2		○	○		○

○		運動学演習 II	人体・下肢体の関節構造と運動の力源である筋肉について、知識を深めて人体の動きを3次元で考えられる基礎を養う。	1年後期	30	2	○	○	○	○			
○		人間発達学	人間の身体、運動、認知、心理、社会性など各領域の正常な発達過程を理解するとともに各段階の発達課題を理解する。	1年後期	30	2	○	○	○	○			
○		リハビリテーション基礎医学 I	運動に必要な栄養学等の諸要素、加齢や不活動の影響、生活習慣病等を学習し、運動の必要性、評価、リスク管理等を理解する。	1年前期	30	2	○	○	○	○			
○		リハビリテーション基礎医学 II	対象者を理解し、他職種と連携してリハビリテーションを行う上で求められる、画像診断や薬物に関する知識、理解を深める。	1年後期	30	2	○	○	○	○			
○		医学概論	医療倫理、健康と病気の概念、疾病の分類を学び病気の診断と治療の概要を理解する。	1年前期	30	2	○	○	○	○			
○		病理学概論	病気の概念・原因、老化のメカニズムや細胞障害、炎症、免疫、循環障害などの生体反応のメカニズムを理解する。	2年前期	30	2	○	○	○	○			
○		整形外科学	整形外科領域のリハビリテーション対象疾患について疫学及び予後、病因と症状・検査及び治療を理解する。	2年前期	30	2	○	○	○	○			
○		内科学	内科領域におけるリハビリテーション対象疾患の疫学及び予後、病因と症状・検査及び治療を理解する。	2年前期	30	2	○	○	○	○			
○		神経内科学	神経内科領域におけるリハビリテーション対象疾患の疫学及び予後、病因と症状・検査及び治療を理解する。	2年前期	30	2	○	○	○	○			
○		臨床心理学	人間行動の基礎理論を学び、正常及び異常心理の評価と行動療法などの心理療法を理解する。	1年後期	30	2	○	○	○	○			
○		精神医学	精神疾患の疫学及び予後、病因と症状、検査及び治療を理解する。	1年後期	30	2	○	○	○	○			
○		リハビリテーションと作業療法 I	リハビリテーションの歴史的背景、定義、目的等を理解する。ICFの構成因子と作業療法および治療過程の関係性を理解する。	1年前期	30	2	○	○	○	○			
○		リハビリテーションと作業療法 II	地域ケアシステムにおける作業療法士の役割や関連職種との連携、社会保障制度、救急救命に必要な知識を学ぶ。	1年前期	30	2	○	○	○	○			
○		基礎作業学 I	作業療法における作業の意味・特性を理解して作業療法における理論や治療的効果の概要を理解する。	1年前期	30	2	○	○	○	○			
○		基礎作業学 II	具体的な作業を通して、作業療法モデルの概念や評価、対象者への治療・指導・援助技術を理解し、適用する方法を学ぶ。	1年後期	60	2	○	△	○	○	○	○	
○		基礎作業学 III	作業療法場面で用いられる作業活動と評価、分析や解釈、介入方法を具体的に理解する。治療的に作業を用いる視点を理解する。	2年前期	30	1	○	△	○	○			
○		生活機能演習	医療福祉施設において、リハビリテーション対象者の生活場面にかかわり、専門的視点をもって対象者の生活機能を理解する。	2年後期	30	1	○	△	○	○	○	○	
○		作業療法管理学	作業療法部門の職場管理において求められる管理業務の基本、臨床教育の基本について理解する。	3年前期	30	2	○	○	○	○			

○		基礎評価学 演習Ⅰ	作業療法評価を理解し、基本的評価の技術・態度、バイタルサイン、形態計測、関節可動域測定等の基本的技術を身に付ける。	1年 前期	60	2		○	○	○	○			
○		基礎評価学 演習Ⅱ	作業療法評価の検査測定の目的や概要の説明、手順の再現、結果の文書・口頭での説明ができるようになる。	1年 後期	60	2		○	○	○				
○		基礎評価学 演習Ⅲ	作業療法評価の各検査法、その理論背景と生体における反応様式について理解し、実際の検査を施行することができる。	2年 前期	30	1		○	○	○				
○		基礎評価学 演習Ⅳ	作業療法評価によりモデルケースの全体像を把握、問題点抽出、治療目標やプログラム立案までの作業療法思考過程を経験する。	2年 後期	30	1		○	○	○				
○		臨床評価学 演習Ⅰ	検査の実施にあたっての説明、器具や記録の準備・片付け・管理が行え、学修した各検査測定手技を安全に実施できる。	1年 前期	30	1		○	△	○	○			
○		臨床評価学 演習Ⅱ	検査の実施にあたっての説明、器具や記録の準備・片付け・管理が行え、学修した各検査測定手技を安全に実施できる。	1年 後期	30	1		○	△	○	○			
○		日常生活活動学 演習Ⅰ	日常生活動作の概念・範囲・意義を理解し、動作の特徴を運動学的・解剖学的にも理解する。IADLを体験、分析、記録し理解する。	1年 後期	30	1		○	○	○	○			
○		日常生活活動学 演習Ⅱ	日常生活活動評価の意義と代表的な検査の方法、IADL評価を理解する。事例を通してセルフケアとIADLの結びつきを理解する。	2年 前期	30	1		○	○	○	○			
○		義肢学	切断のリハビリテーションの実践を理解する。主に、義手の構造を理解し、義手訓練及び適合判定を身に付ける。	1年 後期	30	1	○			○	○			
○		装具学	装具療法の概要を学び、疾患別の装具適応を理解する。装具の探型から作成、適合判定の過程を理解する。	2年 前期	30	1	○			○	○			
○		高齢期の 作業療法	高齢期の身体機能構造、精神心理、環境適応に関する変化、障害を引き起こす疾患、症候、診断と治療を学ぶ。	2年 後期	30	1	○			○	○			
○		中枢神経疾患の 作業療法学Ⅰ	中枢神経疾患の病態・特徴・関連症状、検査測定などの評価を学び、作業療法治療計画やアプローチ方法など実践過程を理解する。	2年 前期	60	2	○		△	○	○			
○		中枢神経疾患の 作業療法学Ⅱ	脊髄損傷の症状、髄節レベルに応じた運動機能及びADL機能について理解し、作業療法評価から治療までの実践過程を理解する。	2年 後期	30	1	○		△	○	○			
○		運動器疾患の 作業療法学	整形外科疾患の原因、病理、症状を理解し、作業療法評価及び治療の選択などの実践過程を理解する。	2年 後期	60	2	○		△	○	○			
○		小児疾患の 作業療法学	運動発達の障害について原因疾患、障害像および作業療法支援の方法を理解する。	2年 前期	30	1	○		△	○	○			
○		内部障害系疾患 の作業療法学Ⅰ	循環器系・代謝系の疾患について理解し、作業療法の評価や基本的介入方法を学び、その実践過程を理解する。	2年 前期	30	1	○		△	○	○			
○		内部障害系疾患 の作業療法学Ⅱ	呼吸器系疾患、悪性腫瘍について理解し、作業療法の評価、基本的介入方法を学び、その実践過程を理解する。	2年 後期	30	1	○		△	○	○			
○		精神障害の 作業療法学Ⅰ	精神医療の現状や利用できる社会資源を知る。精神疾患の理解とりハビリテーション、作業療法理論および評価の基礎を学ぶ。	2年 前期	60	2	○		△	○	○			

○		精神障害の作業療法学Ⅱ	作業療法の対象となる精神疾患の臨床像と精神特性、疾患別作業療法の評価や治療的方法について理解する。	2年後期	60	2	○		△	○	○			
○		高次脳機能障害の作業療法学	高次脳機能障害の神経心理学的評価方法、生活障害の特徴を知り、対象者の全体像を把握して作業療法介入の方法を理解する。	2年後期	30	1	○		△	○	○			
○		作業療法学技術演習Ⅰ	身体障害領域の症例の全体像を把握し、問題点抽出、治療目標やプログラム立案という一連の作業療法思考過程を経験する。	2年前期	60	2		○	○	○				
○		作業療法学技術演習Ⅱ	精神・発達障害領域の症例の全体像を把握、問題点抽出、治療目標やプログラム立案の一連の作業療法思考過程を経験する。	2年後期	60	2		○	○	○				
○		作業療法学総合学習Ⅰ	臨床実習の経験を元に、専門基礎科目・専門科目の知識の統合を図り、国家試験受験資格に値する総合的な力をつける。	3年後期	60	2	○			○	○			
○		作業療法学総合学習Ⅱ	臨床実習の経験を元に、専門基礎科目・専門科目の知識の統合を図り、国家試験受験資格に値する総合的な力をつける。	3年後期	60	2	○			○	○			
○		作業療法学総合学習Ⅲ	臨床実習の経験を元に、専門基礎科目・専門科目の知識の統合を図り、国家試験受験資格に値する総合的な力をつける。	3年後期	60	2	○			○	○			
○		生活環境学	障害者、高齢者の地域生活支援方法、社会制度の活用、福祉用具の適応、住環境の改善等整備が行える知識を身に付ける。	2年後期	30	2	○			○	○			
○		地域作業療法学演習	地域作業療法の理念、目的、概要を学び、在宅生活や就学支援、就労支援等の地域生活への作業療法支援の在り方を理解する。	2年後期	30	2		○	△	○	○	○		
○		臨床実習Ⅰ	チーム医療について学び、病院で働く作業療法士・理学療法士の業務や役割を理解する。	1年後期	45	1			○	○	○	○		
○		臨床実習Ⅱ-1	地域包括ケアシステム、実習施設および作業療法士の役割を理解し、規則に従った自覚ある行動をとり、作業療法業務を経験する。	2年後期	45	1			○	○	○	○		
○		臨床実習Ⅱ-2	精神科医療や認知症関連の施設において、障害特性や生活のしづらさ、精神科作業療法の実際、作業療法士の役割を理解する。	2年後期	90	2			○	○	○	○		
○		臨床実習Ⅲ	チームアプローチ、作業療法の役割と評価を理解して臨床的観察力・分析力を養い、治療計画立案および実践力を身につける。	3年前期	360	8			○	○	○	○		
○		臨床実習Ⅳ	チームアプローチ、作業療法の役割と評価を理解して臨床的観察力・分析力を養い、治療計画立案および実践力を身につける。	3年前期	450	10			○	○	○	○		
合計			64科目		3150単位時間 (126単位)									

卒業要件及び履修方法			授業期間等	
卒業要件：すべての授業科目の単位修得を認定された者			1学年の学期区分	2期
履修方法：講義・演習・実習により履修する			1学期の授業期間	17週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。